

2008年3月期

# 決算説明会資料

黒田電気株式会社

取締役 代表執行役社長

金子 孝

# 黒田電気とは

## 当社の競争力

### 他社との差別化ポイント

約2000社の豊富な仕入先を持ち、メーカー機能を持った独立系商社  
12カ国55拠点におよぶグローバル拠点展開によって、きめ細やかな  
顧客密着型のフォローアップ体制が特長  
細かなビジネスが多いが、先行して着実な成果を出す機動性

## 経営方針

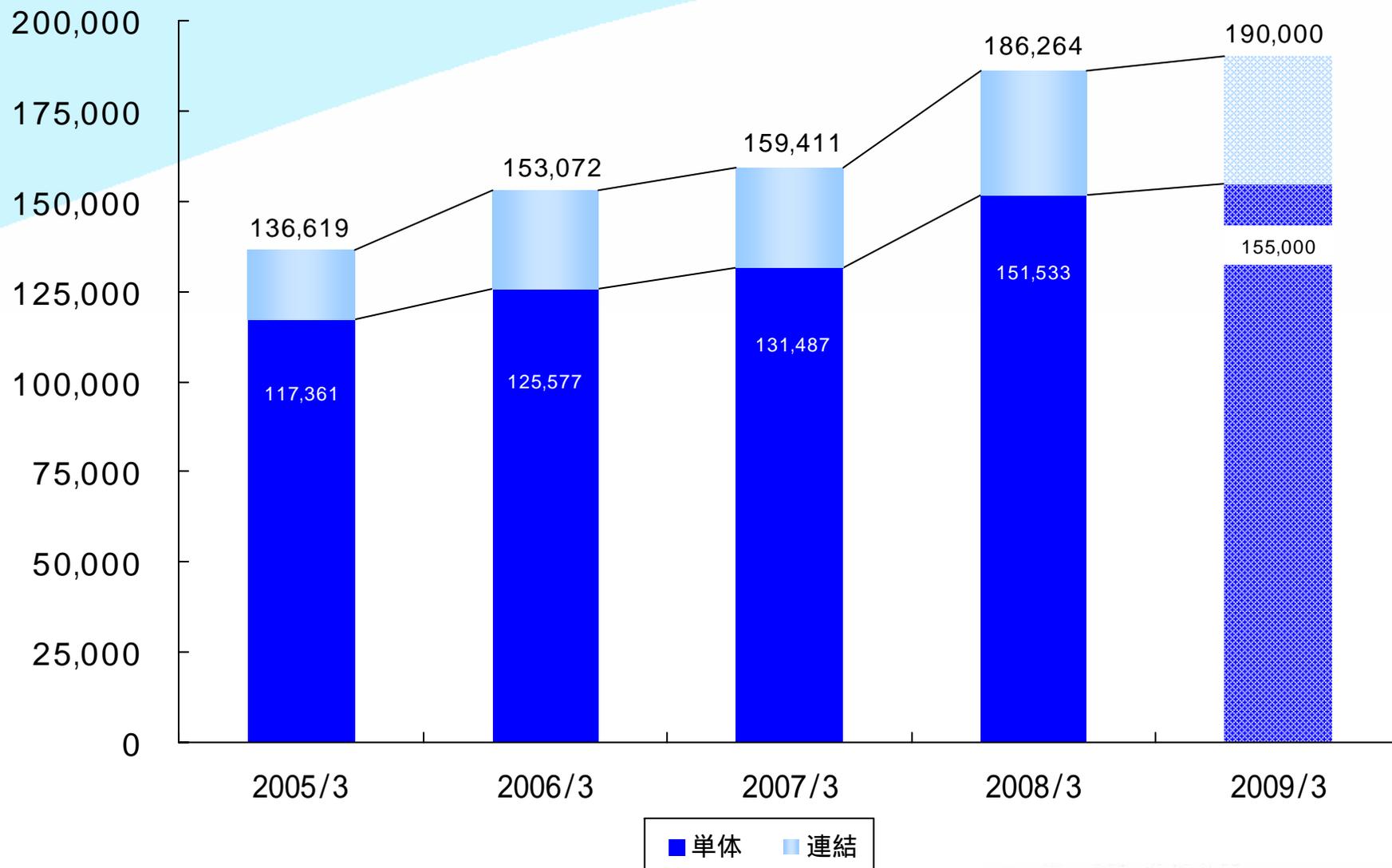
取引先企業が必要としているサービスを間断なく、適時、的確に提供する  
ことにより、世界のエレクトロニクス業界の発展に貢献するとともに、  
社会に貢献する企業、信頼される企業を目指し、企業価値を高めていく。  
これらの実現によって、従業員や取引先・株主様など、当社を取り巻く  
ステークホルダー全体の満足度を高めていく。

## 長期的なポテンシャル

エレクトロニクス業界を中心に、情報通信/自動車/フラットパネル  
ディスプレイ分野を重点戦略分野に据え、グローバルに経営資源（ヒト  
/モノ/カネ）を積極的に投入し、継続的な売上と利益を創出する。  
2011年3月期までに、売上高2000億円、営業利益100億円を達成する。

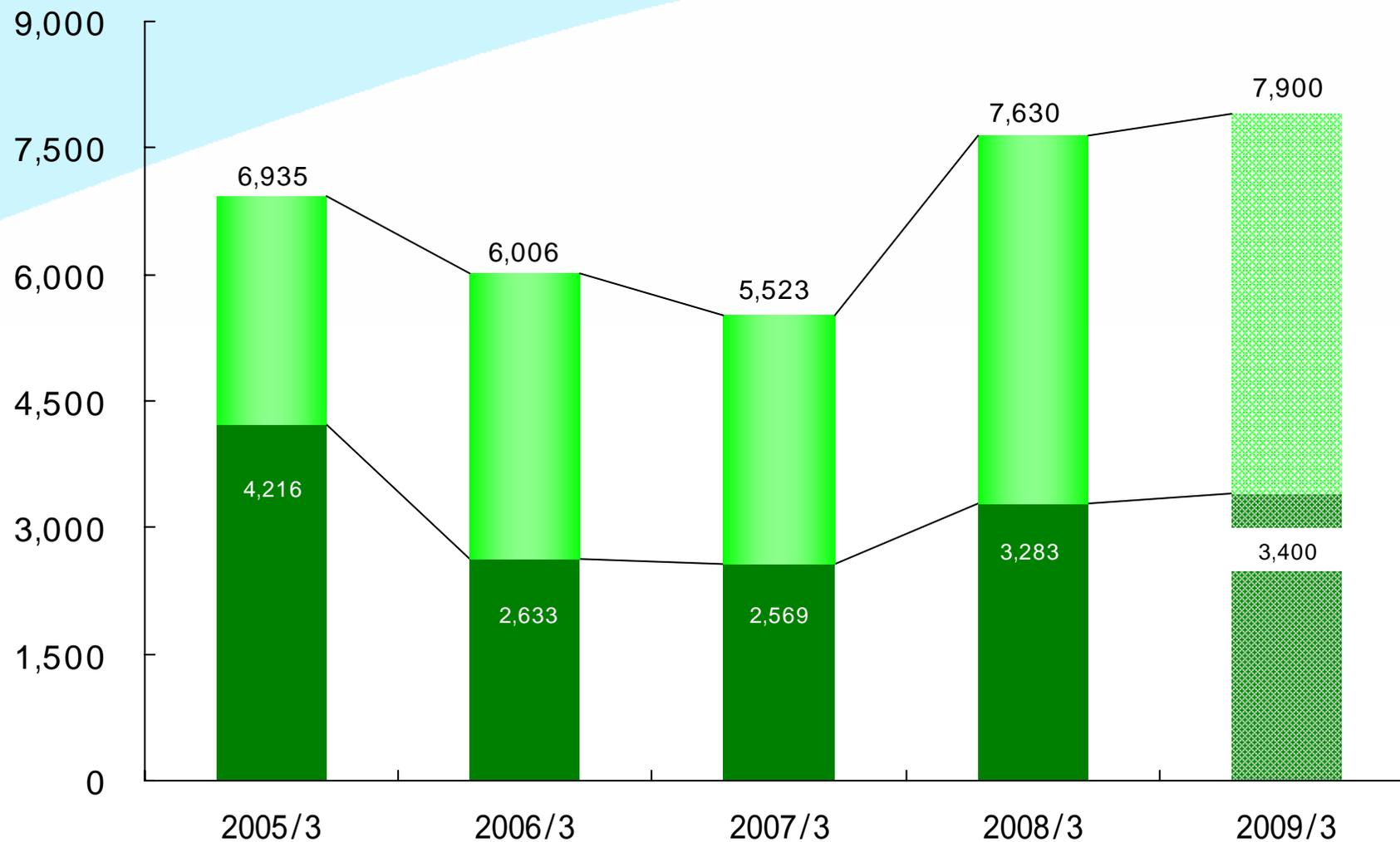
# 連結売上高推移

単位：百万円



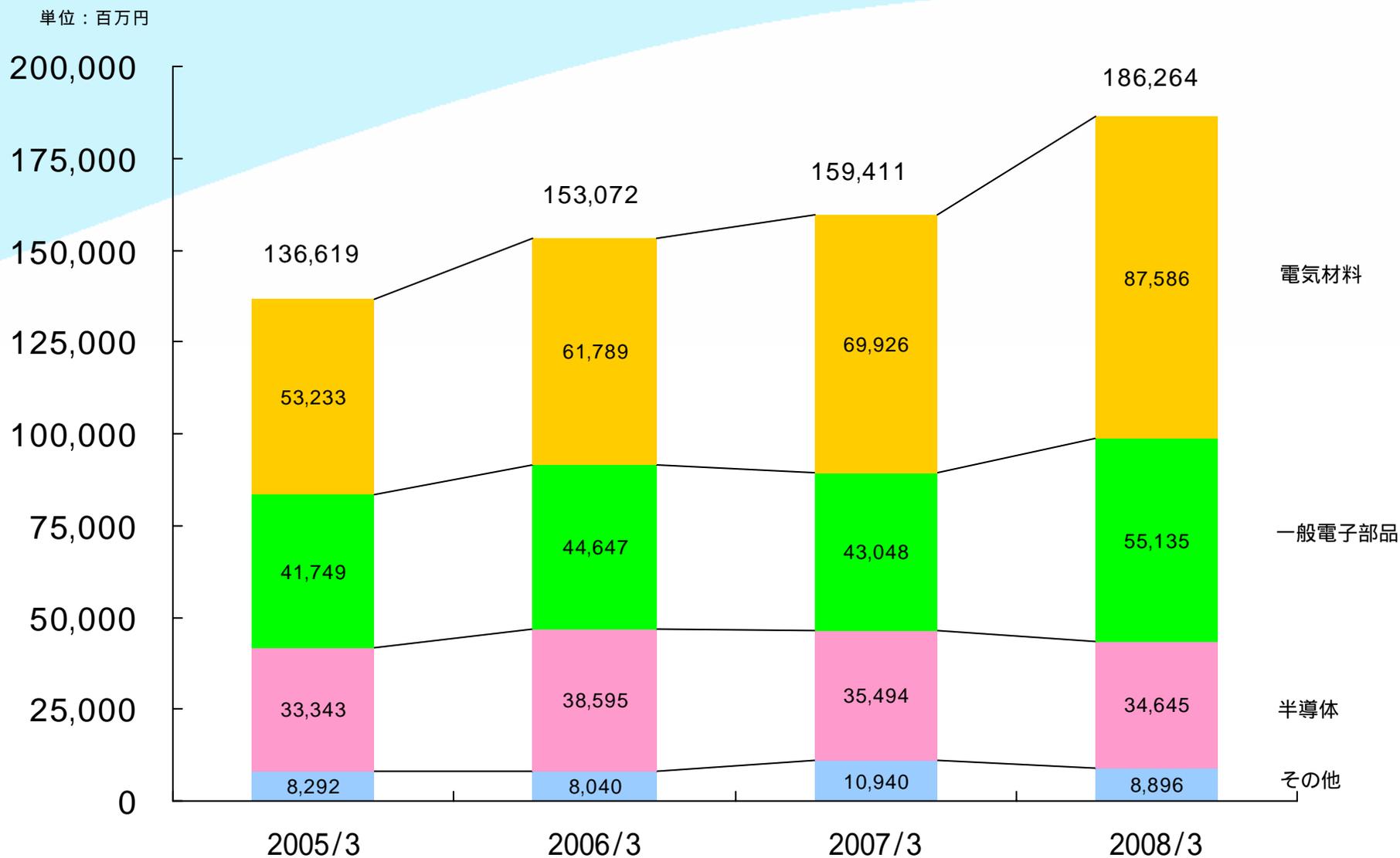
# 連結営業利益推移

単位：百万円

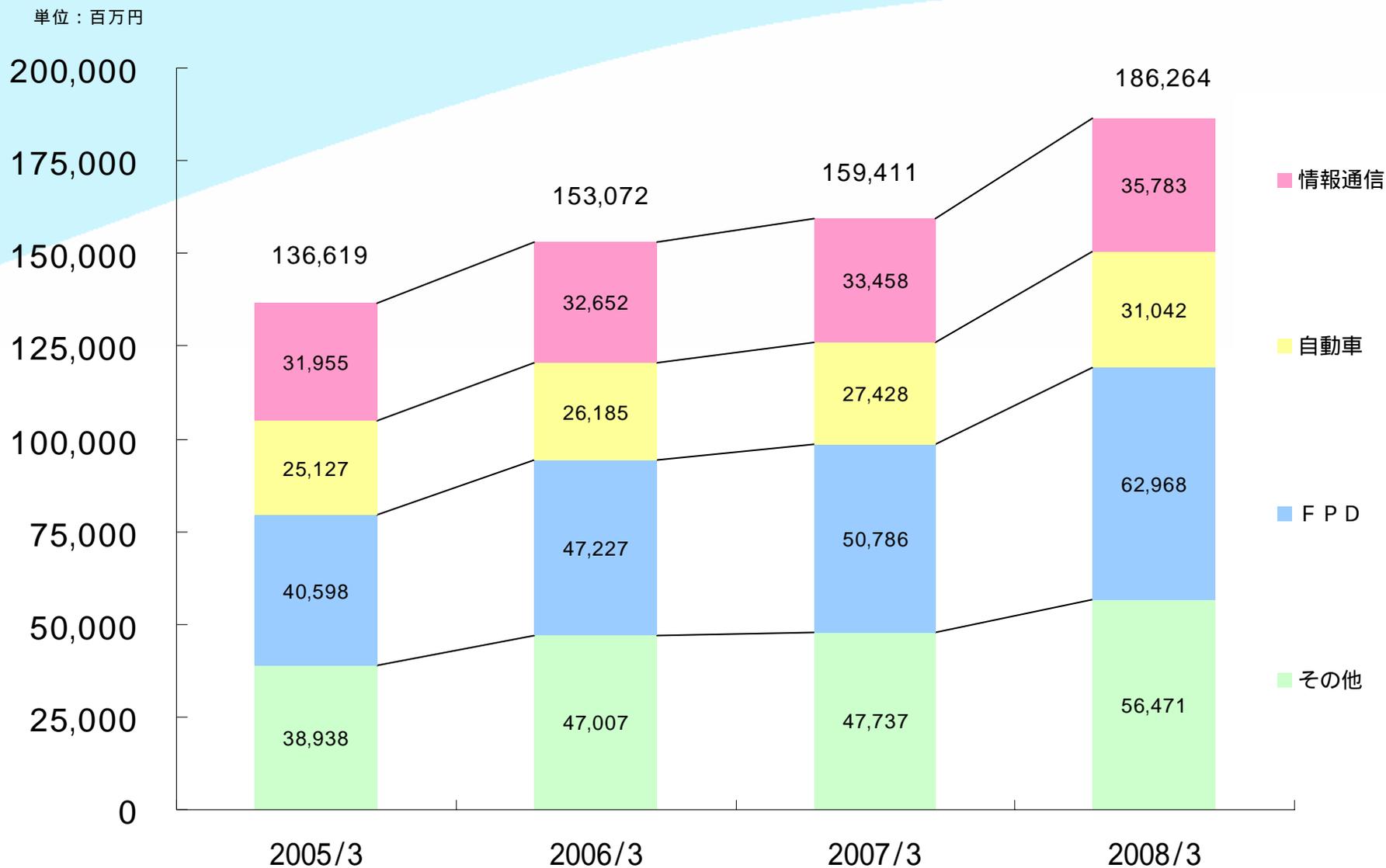


■ 单体 ■ 連結

# 商品別 売上高推移（連結）

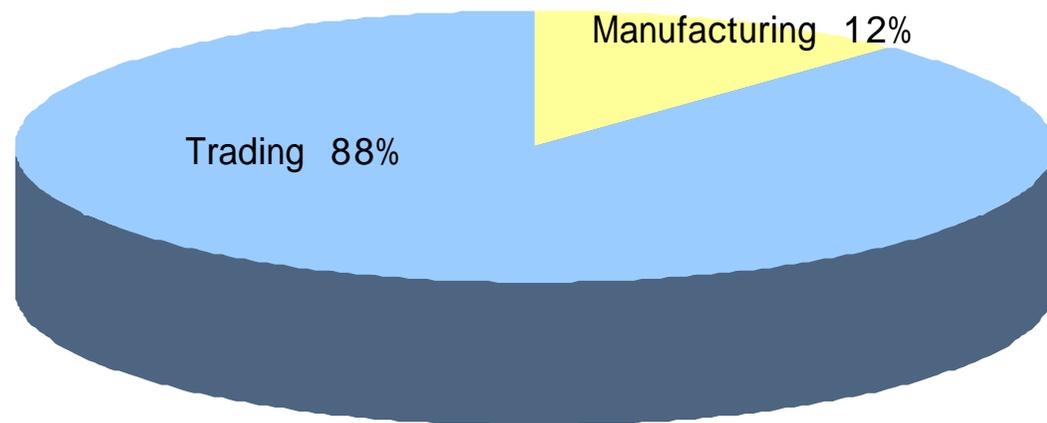


# 重点戦略分野 売上高推移



# 商社：製造比率

## 売上比率



Composition Rate  
(Net Sales)

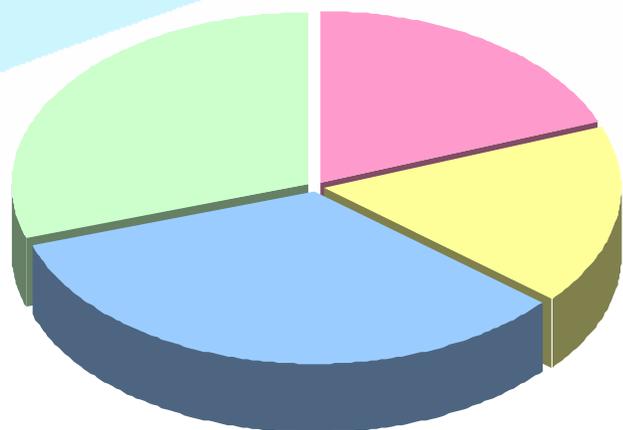
## 営業利益比率



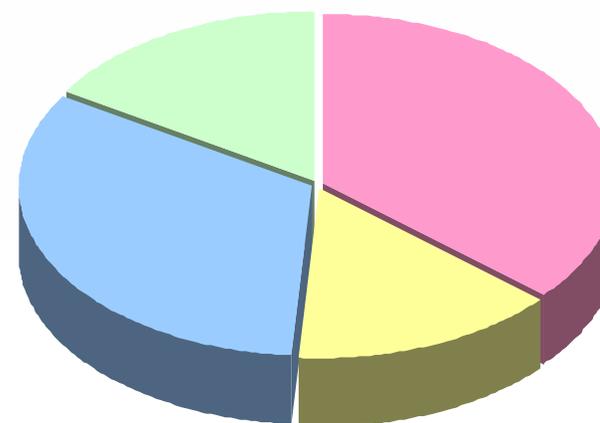
Composition Rate  
(Operating Income)

# 重点戦略分野

売上比率



営業利益比率

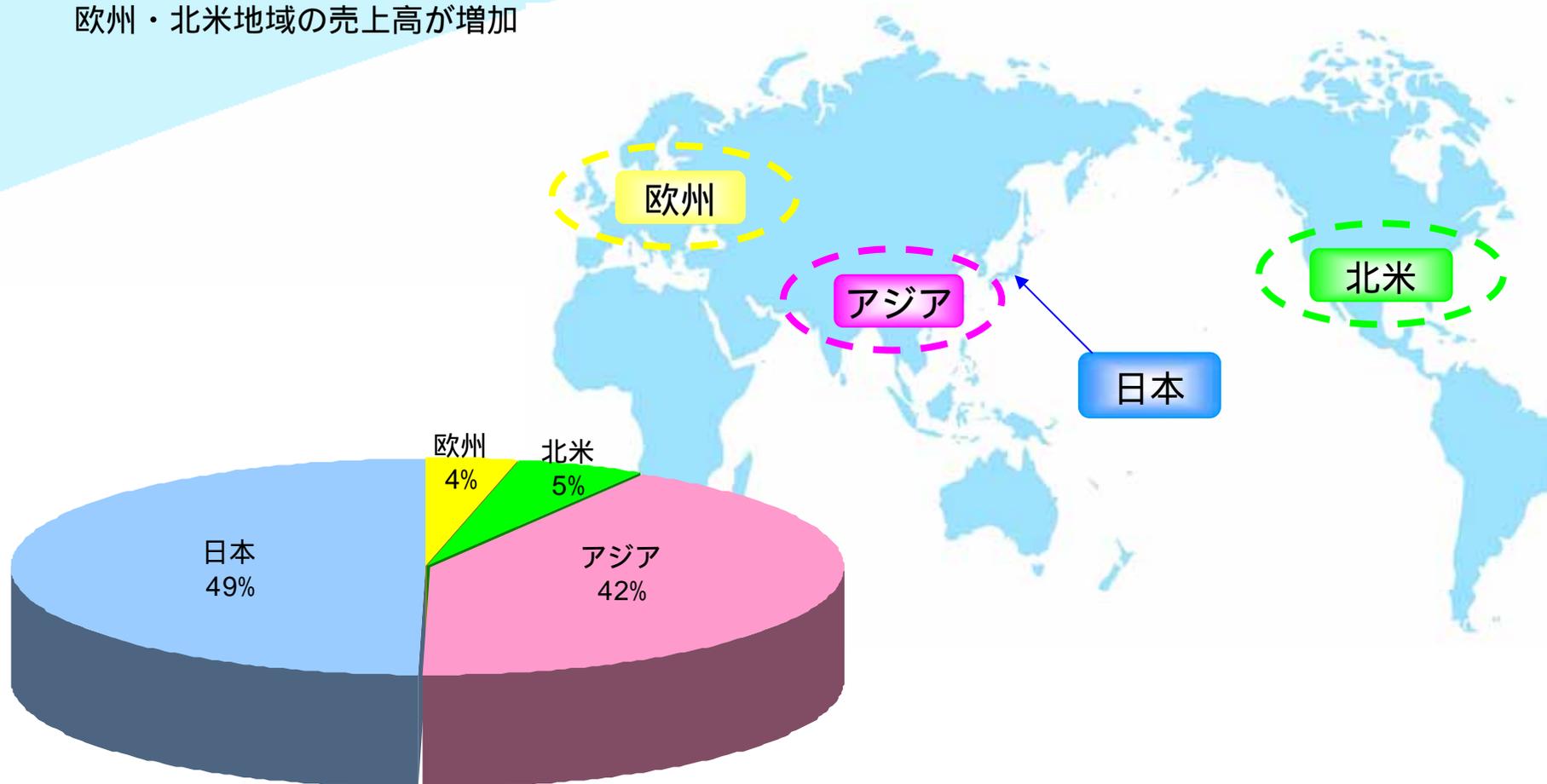


2008年3月期

占有率	売上高	営業利益
情報通信	19.2%	36.2%
自動車	16.7%	14.3%
F P D	33.8%	32.3%
その他	30.3%	17.3%

# 海外売上高占有率

欧州・北米地域の売上高が増加



# 直近の事業投資

時期	項目	内容
2006.9	HDD Thaiメッキ工場	本格稼動により新規HDD顧客層が拡大
2007.6	アメリカ（サンディエゴ）へ販売拠点開設	北米向け液晶関連ビジネスの物流拠点
2007.8	ホーランド（トルン）へ販売拠点開設	欧州向け液晶関連ビジネスの物流拠点
2007.9	成田エクスポートセンター稼動	空輸（成田・関西）/海上（東京）貨物の集約拠点を構築 輸出費用の圧縮 + 情報網構築
2007.10	Cosmo Kuroda Electric s.r.o.設立	FPD市場向け欧州製造子会社を設立 コスモテック + 当社の共同出資会社・2008年7月稼動
2007.12	アメリカ（テネシー）へ販売拠点開設	北米向け自動車関連ビジネスの販売拠点
2008.1	中国（シンセン）へ販売拠点開設	中国華南地域へのフォロー体制拡充（RMB取引）
2008.3	ソーワコーホレーションM&A	基板のパターン設計（アートワーク）専門会社をM&A デジタル家電業界に強み 川上から川下へ相乗効果
2008.4	コムラテック増資引受け	第三者割当増資により資本金2000万 1億円へ
2008.5	ベトナム（ハノイ）現地法人化	OA関連を中心とした販売拠点 法人設立許可

# 中期経営方針と目標

2008年4月期 2011年3月期

## 基本方針

グローバルな商社機能と高付加価値なもの作り体制を充実し  
売上高2000億円・営業利益100億円を目指す

### 1. グローバル戦略

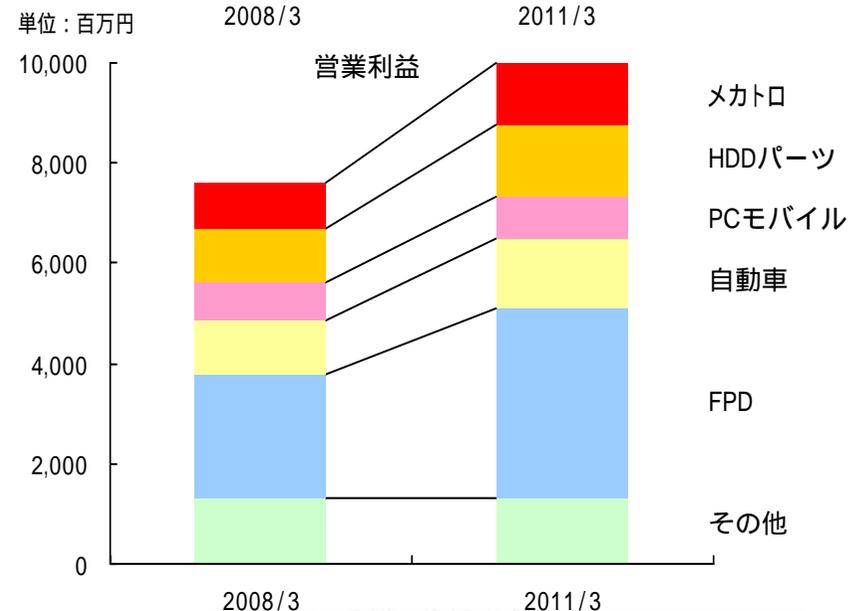
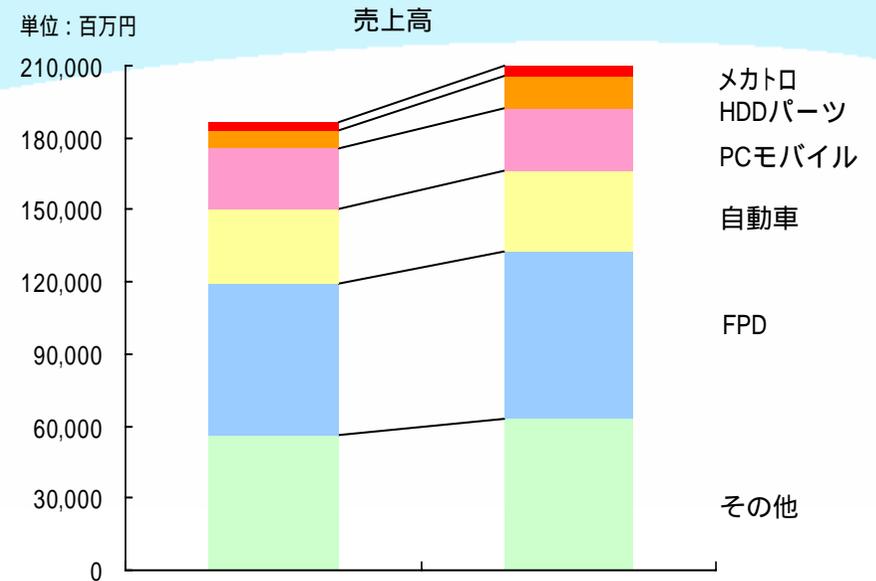
- ・勝ち組企業、成長分野へ経営資源を集中する。
- ・グローバルに攻めの姿勢で事業展開する。
- ・新ビジネスモデルを構築する。

### 2. 高付加価値の創造

「もの作り」「商社機能」において、迅速且つ高品質なサービスと製品の市場投入を行い、世界のエレクトロニクス業界発展に寄与する。

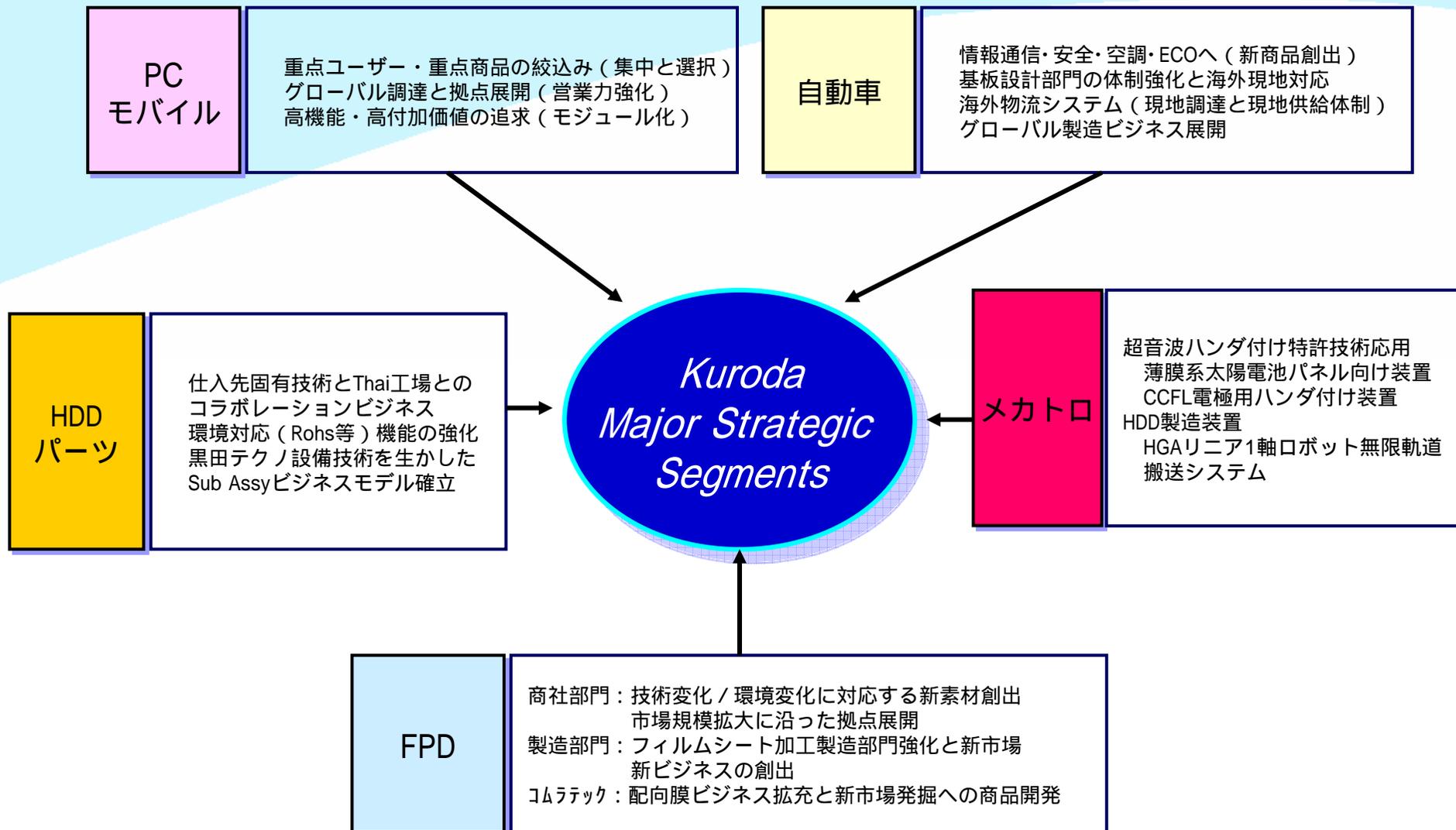
### 3. CSRの実践

環境活動への参加や環境関連ビジネスの推進を高め、CSRへの取組みを積極的に推進し、企業価値を高め、社会に貢献する企業を目指す。



# 重点戦略分野

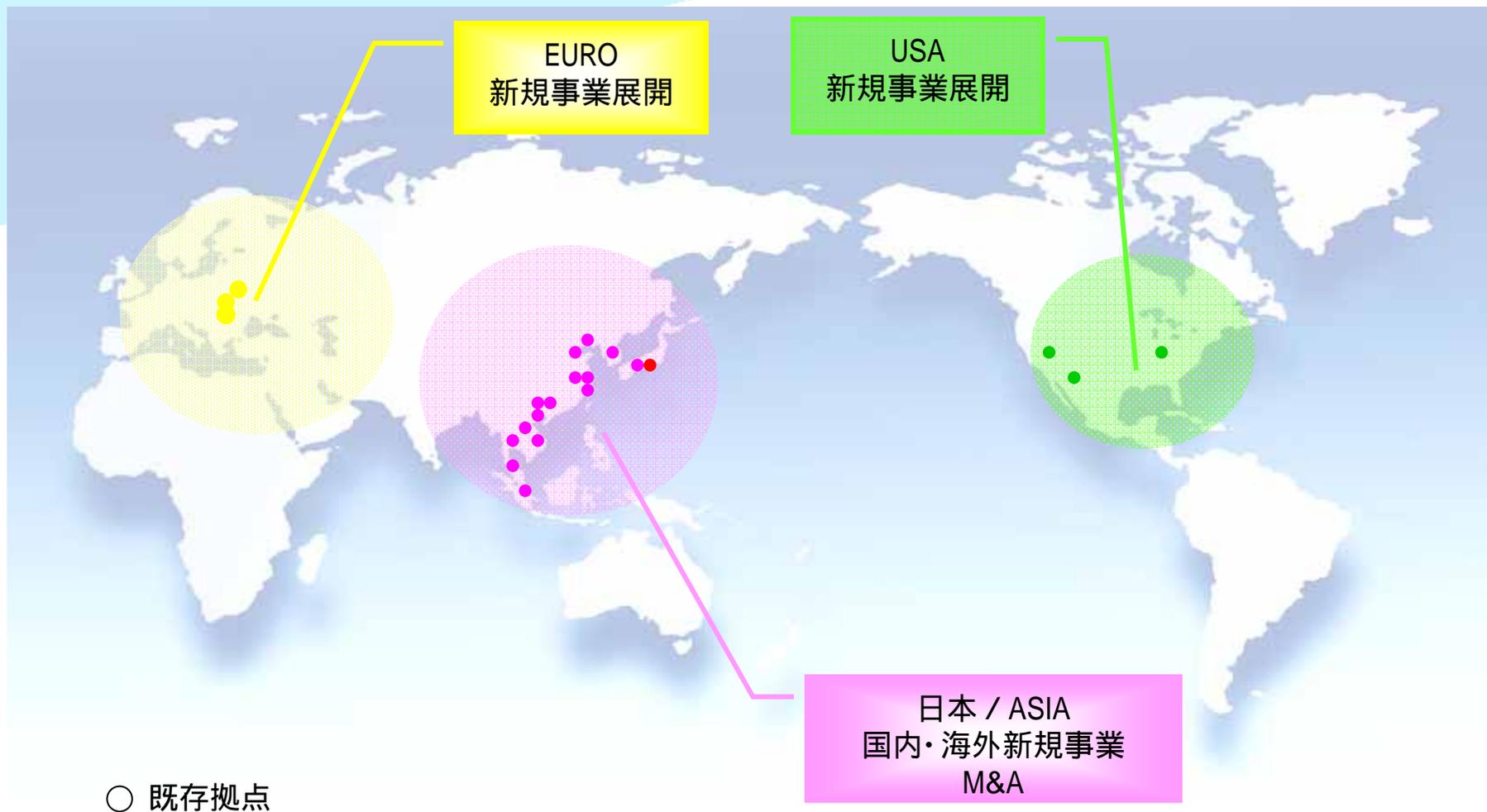
2008年4月期 2011年3月期



# 地域戦略

2008年4月期 2011年3月期

日本 / ASIA / EURO / USAの各地域へ更なる拠点拡大と新事業を展開



# 企業体質強化

2008年4月期 2011年3月期

## 財務体質の強化

1. グローバル投資による事業拡大、運転資本増加に対応するグローバルな資金調達
2. キャッシュフロー重視の徹底
3. 株主重視の企業価値経営推進

### 配当政策

株主の収益性と会社の事業拡大・財務体質の強化を総合的に考慮し、長期的視野に立った安定的な成果配分を継続

ROE Target 15%



## ビジネスシーン要求事項

省エネルギー  
創エネルギー  
RoHS規制  
ISO14001  
低Co2  
高効率  
低消費  
不燃ガス  
高燃費  
太陽光発電  
高品質  
環境貢献

……etc

ナノハイブリッドカプセル  
(NHC2)

ISO9001  
SGSグローバル認定

薄膜太陽電池パネル  
超音波ハンダ付け装置

当社取扱い商品  
RoHS完全保証体制確立

商品キーワード  
値段→省エネ優先へ



## CSR / 環境とビジネス

1. 環境貢献型企業への変化
2. さまざまなビジネスシーンで要求される「環境対応」を当社独自のビジネス戦略へ

## 人材（人財）育成

1. グローバル人材の採用と育成
2. ビジネスモデルを造り出せる人材の育成
3. 教育センター開設

# 中期経営ビジョン

2008年4月期 2011年3月期

- *PC・Mobile*
- *HDD*
- *Automobile*
- *Flat Panel Display*
- *Mechatronics*

財務体質強化

人材育成

環境・CSR

Global Supply company



KURODA ELECTRIC Co., Ltd.

- 信頼される商社機能
- もの作りプロセスの拡充

戦略的投資

国際調達機能

物流戦略



End of File